

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 多機能型拠点ラボリベース児童発達支援センター

公表日 令和7年3月14日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	94.74	5.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>家具の配置を変えて広くスペースを使えるようにした。</li> <li>来年度より曜日固定にしようとアンケートを実施、集計している。</li> <li>敷地内に倉庫を設置し、2階のスペースを確保できた</li> <li>小さいが園庭を作り、外遊びできる時間がつくれそう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用頻度が多く、長い間お預かりしているお子さん多いので、外で身体を動かせる場所が施設内に確保されているとより良いと思います。</li> <li>食事介助が必要なお子様が多い日にはスペースが狭いと感ずる。</li> <li>身体を動かすことが必要な子どもたちにそのスペースが提供されにくいのでスペースがほしい。</li> </ul>
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	84.21	15.79	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が増え、不足を感じる日がほとんどなくなった。</li> <li>ライン表を組み、適切に配置している。</li> <li>適切であると感じる。</li> <li>時間帯によって偏りはあるが、2クラスが声を掛け合っで職員の不足がないよう連携しているように思う。少なくとも昨年度よりは改善されていると感じる。</li> <li>お子様の状態などを考え、臨機応変に配置人数の変更など対応できていると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員数に問題はなくとも日によっては職員が足りないと感じることがあります。来年度からは曜日固定になるので、改善されるかと思ひます。</li> <li>国の基準では4対1となっているが、お子様の特性やその日の様子で1対1の対応が必要になることもある。</li> <li>感染症等による職員の欠員についてオペレーション変更のマニュアルがあるとより良い。</li> <li>人数や子どもの状況により足りないと感じることもある。</li> <li>病欠などがあつた場合には対応が難しくなることがある。</li> <li>お子様の状態によっては1対1で対応しなくてはならないことがあり、事業所だけの工夫では限界があるのではないか。</li> </ul>
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	94.74	5.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人の整理カゴが利用者ロッカーに用意されていて名前、顔写真がついていて見やすくなつてゐる。危険防止のため、窓には柵、階段やトイレには手すりがついている。</li> <li>ソフトクローズ機構つきの引戸であるため、閉める際に音が鳴らないようになっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少し子どもの手を放すとすぐに階段があり、危険を感じることがある。</li> <li>2階がキッズの活動室であるため、入退所時に歩行が困難なお子様の荷物と一緒に抱きかかえて昇り降りする際に足元の危険を感じる。お子様優先で荷物は後回して良いと意識づけしてほしい。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	94.74	5.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用人数が適正な場面であれば活動しやすい空間となっていると思う。</li> <li>物置の設置、棚の追加をしたため、使用物が整理されており、以前より取り出しやすくなりスムーズな支援に繋がれていると思われる。</li> <li>お子様の活動に合わせて都度変更したり物の配置を変えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>床が汚れていてご利用者様の足の裏が黒くなつてしまつてゐる。隅々まで掃除することができておらず、埃が溜まつてしまつてゐる。</li> <li>活動部屋と食事場所が同じになっているが、食後の食べこぼしが多く、掃除する時間があれば良いなと思う。</li> </ul>
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	73.68	26.32	<ul style="list-style-type: none"> <li>段ボールやセンサーテントを用意し、一人のスペースをつくつてゐる。</li> <li>部屋を増やすことはできないが、センサーテントを購入し、落ち着けるスペースを確保している。</li> <li>個別両方を開始しており、必要に応じて指導訓練室を利用できることになっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>倉庫部屋が2階にもう1つあると指導訓練室にある平均台を片づけられ、スペースを確保できると良い。</li> <li>個別スペースを十分確保することは難しいと思う。</li> <li>必要に応じて一時的に気持ちを落ち着かせる個室があるといいと思う。そこに付く職員分、余裕のある職員の配置も必要。</li> </ul>
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	94.74	5.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援会議については土曜日の支援終了後に時間が設けられています。</li> <li>以前の支援会議は決まつた職員だけで行つてゐたが、クラスごとに話し合える場ができたので良いと感じる。</li> <li>コア会議、職員会議、支援会議等多くの会議を通してPDCAに努めてゐると思う。</li> <li>土曜日を利用して行つてゐる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常勤の職員さんが多いので、非常勤の方が参加できる会議もあると良いかと思ひます。</li> <li>正職員と非常勤職員の間少し参画しきれない溝があるのでないかと思ふ。</li> </ul>
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.00	0.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>メール、連絡帳、日報、評価表など多くの方法がある。</li> <li>評価表をいただいた後に検討会を行い、来年度の支援に活かす。</li> </ul>	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.00	0.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援管理責任者との定期的な面談の機会がある。</li> <li>面談が行われています。</li> <li>朝礼、終礼、職員会議、土曜ミーティングなどで常に情報や意見を交換している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パート職員の意見が出にくい。</li> </ul>
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100.00	0.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度はアスラサポートによる第三者評価を実施した</li> <li>今年度より行われています。</li> <li>第三者評価はもちろん、最近には特に業務改善、組織改善を実感している。</li> </ul>	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.00	0.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修については研修報告会の頻度が多く、受講する機会も確保されているので良いと思ひます。</li> <li>研修の内容を共有する場が設けられて良くなつたと思う。</li> <li>時間が許す限り外部研修への参加は推奨されている環境である。</li> <li>学びたい項目を選択させてもらい、外部研修を受けることができている。また、他の職員が参加した研修でも研修報告会で共有されている。</li> <li>研修を受講する機会はとて多く、充実している。</li> <li>フィードバックもしっかり行つてゐて他の職員への周知もされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常勤職員の皆さんと共有する方法も必要と感じます。</li> <li>既存の人員配置、研修時間の確保、職員を踏まえ、自治体からのサポートも求めたい。</li> </ul>

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.00	0.00	・児童発達支援ガイドラインに沿った支援プログラムが作成されています。 ・規定のガイドラインに従い、不備があれば都度改善し、適切になされていると思う。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100.00	0.00	・見学、契約時に適切にアセスメントするためのツールがあります。	今後は職員の観察だけでなく、スケールを使っていくほうが良いと思います。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.00	0.00	・支援会議を行って計画書を作成しているのでできていると思います。 ・終礼において他の職員にも共有している。 ・クラス担当職員全員（非常勤も含め）が集まって話すことはなかなかできないが、子どもの様子を出し合い、それを確認し、検討している。 ・複数の職員が支援会議に参加し、日常の子どもの様子や必要な支援について話し合うことができている。 ・日常業務の中でコミュニケーションをよく取っていると思う。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.00	0.00	・クラスのリーダーから子どもに合わせてどう行うのかを伝えてくれ、同じようにみんなが支援できるようにしている。 ・支援会議に参加していない職員にも終礼や日報にて周知されている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	94.74	5.26	・インフォーマルなアセスメントを契約時、見学時に使用している ・フォーマルなアセスメントは全員には実施できていない状況のため、アセスメントの見方などを職員研修でやっていく	・フォーマルなアセスメントの結果と日常の活動を結び付けるまでには至っていない気がします。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.00	0.00	・支援プログラムに沿って児童発達支援計画が作成されている。 ・項目に分けて個別支援計画が作成されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	94.74	5.26	・それぞれの担当となった職員が個々に考えて工夫されていると感じます。季節の行事を製作に取り入れるなどできています。今年から子どもたちの変化をより分かりやすくするために一部の活動を固定化した。 ・2クラスあるので、クラスごとに活動内容が設けられ、成長に合った支援が行えるよう考えられている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	84.21	15.79	・それぞれの担当となった職員が個々に考えて工夫されていると感じます。季節の行事を製作に取り入れるなどできています。 ・数人の職員が順番で行っており、内容もその日のご利用者様に合わせたものを行うようにしている。 ・お子様の状況に応じて様々なプログラムを行っている。 ・皆さん主体的にアイデアを出し合っていると思う。 ・季節に合ったプログラムも多く取り入れ工夫していると思う。	・それぞれが工夫して同じ内容にならないようにしている。職員向けに日々の活動を記録したものがあるとより活動が固定化しにくいのではないかなと思う。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.00	0.00	・昨年11月より個別療育を開始している。 ・個人の療育に対して専門の個別療育ができることがとても良いと思います。 ・個別療育が今年度より開始され、支援の幅が広がっているように思う。 ・作業訓練、ことばの訓練をお子様の状況により組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	84.21	15.79	・毎日の朝礼で確認している。 ・事前の打合せは毎回行われていなくても進行しながらそれぞれの役割分担はできていると思う。 ・出勤時間が異なっていたご利用者様がいる中で打合せはできていないが、活動中は協力し合っている。	・その日の活動内容について打ち合わせや役割分担の話し合いは不十分なところがあるので、話し合う機会を短時間でも確保できたら良いと思います。 ・朝礼で打合せは行いが、チームでの支援内容や役割分担はもう少し行ったほうが良い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	89.47	10.53	・終礼に参加することはできていないが、リーダーの職員から必ず共有してもらえ。 ・毎日の終礼で確認している。	・個々で話すことはあってもチームで集まって設定遊びを振り返ることが時間もなく、難しいと感じるところがあります。全体の終礼で気づいた点等を共有する機会があります。 ・個々の支援についての振り返りは毎日はないが、お子様の送迎等で職員の時間が合わないこともある。 ・日常的に振り返りを毎日することは難しい（必要に応じて共有しようとはしている）
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	89.47	10.53	・活動でできていることや課題などをスタッフ間で共有している ・毎日支援終了後に終礼を行い、職員間で共有することができている。また、その場にはいない職員にもわかるように日報に残している。	・HUG上の記録は写真付きで毎回とれていると感じます。支援の検証については話し合う時間が設けられると良いと感じます。 ・記録はとれているが、支援の検証・改善がなかなかできない。個人的に反省をし、改善策を考えているが、全体では行えていない。 ・記録と日常の支援のつながりは今後さらに深めていく必要があると思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.00	0.00	・定期的にモニタリングを行っています。 ・クラスのリーダーまたは児発管が保護者様と面談を行い、そこでの内容を踏まえて支援計画の見直しをしています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.00	0.00	・クラスのリーダーまたは児発管が参加することが多いです。 ・医療的ケアの必要なお子様の会議には看護職員が参加するなどお子様の状況をよく知っている職員が参画することができていると思います。	

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.00	0.00	・年長児については就学後を見据えて連絡会を行うことがあります。 ・行政の担当者、幼稚園保育園の先生などの関係者を含めた会議を行うことがあります。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	84.21	15.79	・併行利用にあたっては保育所等訪問支援の説明を行うことがあります。全員ではありませんが、保育園や幼稚園と支援内容を共有する機会もあります。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	84.21	15.79	・就学前の連絡会を行っています。	・栄養士については間接的に情報が入ることはあるが、常にはない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	100.00	0.00	・児童連絡部会のリーダーとして課題のとりまとめ等主体的に活動している。 ・今年度より事業所向けの見学会や研修会を実施予定。 ・児童発達支援センターの情報交換会に参加し、各地域の児童発達支援センターと課題の共有等を行っている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100.00	0.00	・外部研修に参加させてもらっている。また、その度に研修報告会が設けられ、その研修に参加していない職員も学ぶことができる。 ・状況に応じて人員を動かし、研修にも積極的に参加している。また、報告書にて情報を共有している。 ・昨年から外部研修に参加させていただいている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100.00	0.00	・当施設の管理者が協議会会長を務めている。 ・施設長が坂戸市の自立支援協議会の会長をしているため、児童発達支援センターの役割を果たしている。 ・施設長は坂戸市の自立支援協議会の会長をしており、地域ニーズに応えるように努力している。 ・坂戸市障害児等保育実践指導業務を行っているため、地域の保育園との交流の機会がある。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	15.79	84.21	・ご利用者様同士の交流はないが、職員は保育所等訪問支援で接する機会がある。	・コロナ前は児童館を利用し、その中で交流があったが、現在は難しい状況になっている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.00	0.00	・保護者の方とのちょっとした会話の中で施設と自宅のどちらともできている、できていないということを知ることができ、今の課題を確認できている。 ・日頃から児童記録や送迎時のお話で保護者様と密に子どもの状況を伝え合っている。また、定期的に面談も行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.00	0.00	・つぶやきカフェなどで保護者同士の交流機会を図っているところが良いと思います。 ・2か月に1回学習会を行っている。 ・来年度よりペアトレ実施予定。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.00	0.00	・契約時に丁寧に伝えるよう努めている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.00	0.00	・見直しの際には面談を行い、ご家族様の意向を確認している。 ・初回の作成時にはアセスメントを行い、その中で保護者様のご要望を伺っている。	・支援する際に疑問が生じた場合には、ご利用者様やご家族様に確認しているが、全体への周知がされないことがある。連絡用紙を活用しているが、口頭確認も増やせると良いと感じる。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100.00	0.00	・個別支援計画を示し、内容を説明している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.00	0.00	・必要に応じて面談を行ったり学習会の中で子育てに関する疑問等を伺っている。 ・HUGのメッセージや連絡帳、送迎時などにお話を伺うこともあります。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	78.95	21.05	・月に1回、保護者の交流の場「つぶやきカフェ」を行っている。 ・毎月「つぶやきカフェ」という保護者様同士で交流できる機会を設けている。また、保護者会が開催されている。2か月に1回親子教室として保護者様やきょうだいも設定遊びに参加することができる。	・きょうだい児向けのイベントは現在ないため、検討していくことも必要。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.00	0.00	・相談苦情窓口を設けています。	・重要事項説明書には相談・苦情窓口に関する記載があるが、なかなか目にするものではないため、フローチャートなどでわかりやすく伝えていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.00	0.00	・お便りとHUG上で必要な情報をわかりやすく発信できていると思います。 ・毎月おたよりを発行している。 ・毎月お便りを発行し、HUGに掲載するとともに利用時に配布も行っており、保護者への発信を適切に行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.00	0.00	・個人情報の口外禁止は勿論、個人情報が記載された印刷物はシュレッダー処理をしています。 ・業務で知り得たことを口外しないことはもちろん毎日の児童記録の写真に他利用者を載せないようにも配慮している。	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	94.74	5.26	・絵カードなどを用いたやり取りをすることがあります。	・子どもとの意思疎通を図るためには研修をさらにしていく必要があると感じます。 ・手話を学び、コミュニケーションをもっととれるようになりたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	47.37	52.63	・コロナ前のような講演会や相談会は行っていないが、心理検査はラボリのご利用者様でなくても受けることができる。 ・今後、地域の方向けの見学会を行う。 ・ボランティアを活用するのはどうか。	・コロナ禍以前のように活発に行えてはいない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	94.74	5.26	・マニュアルの改訂を行っている。 ・マニュアルを改訂した際にはHUGにて保護者様に共有しています。 ・感染症対応に関するシュミレーションや防犯講習を行っています。	・強盗や変質者が最近多くなっている。さすまたや似たようなものを使った訓練を試みたい。 ・マニュアルに沿った訓練を実施することは今後の課題となる。 ・訓練が年に数回しか行えずパート職員が参加できないことがある。この状況を改善していきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.00	0.00	・月1回の避難訓練ができています。 ・BCPが策定されています。	・行っている。防災頭巾について子どもたちには少し使いにくいように思います。違ったものがあるといいなと思いました。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.00	0.00	・看護職員が中心となりケア会議を実施しています。また、近況についての記録をとっている。 ・入所時に看護師が児発管や各クラスのリーダーと情報共有している。定期的にケア会議も行い、持病があるお子様の状況を確認している。	・てんかん発作が起きる可能性がある子どもの一覧がクラスにほしいです。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.00	0.00	・契約時に食物アレルギーの有無を確認して有の場合は栄養士が対応食を作成している。検査の記録も保管されている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.00	0.00	・安全計画は作成されており、定期的な避難訓練も行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.00	0.00	・HUGにて公開している。 ・HUGを通して周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	94.74	5.26	・終礼で共有することができていると思います。 ・毎日終礼で確認し、情報共有し、適宜報告書を作成している。	・ヒヤリハットに記録されていても内容を見て自分事と深く考え、取り組むことは難しい。数年経つと同じような内容がある。再発防止策の最善策は見つけていないが、職員間のコミュニケーションが大切と思う。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.00	0.00	・委員会があり、研修も実施しているので問題はないと思います。 ・定期的に虐待防止のセルフチェックシートを記入している。 ・虐待防止委員会を設け、定期的に研修を行っている。 ・適宜アンケート調査を行っているが、いずれにしても職員のモラルは元々高いと思う。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100.00	0.00	・身体拘束に関する指針が作成されている。 ・契約書、重要事項説明書に身体拘束に関する説明がある。現在対象のお子様はいらっしゃらないが、該当する場合は個別支援計画に記載していく。	